

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 3 月 1 日

公表:令和 3 年 3 月 5 日

事業所名 ぽかぽかほうす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6			適正に配置している。 児童発達支援管理責任者1名 児童指導員2名以上 児童指導員加配(常勤換算1名)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			PDCAサイクルに参画している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			年に1度アンケートを実施し、意見や要望などを業務に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			確保している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			アセスメントは利用開始時と、必要に応じて行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			業務終了後や翌日に実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			支援計画に基づき細かく記入するよう徹底し、支援計画の反省や計画の策定に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			3か月ごとにモニタリングを実施している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5			行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	児童発達支援管理責任者1名、担当職員で対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		保護者を通じて行っていたり、必要に応じて先生から引き継ぎがある場合もある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	現在、医療的ケアの必要な利用者はいないが、てんかん等の発作があった場合の連絡体制は職員間で周知している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		必要に応じてケア会議等を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		主に、学校や相談員が対応している場合が多く提供には至っていないが要望があれば情報提供やケア会議などで情報提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	今年度はなかった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	機会を設けたことはない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	利用者の様子を職員間で共有しあい、送迎の際や、必要に応じて電話などで保護者に伝えている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	今後、検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情はなかったが、体制を整えていることを保護者に周知していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		発信している。
	35	個人情報に十分注意している	6		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	今年度は人を集めることが難しく地域交流会の実施は出来なかった。地域の方に空き部屋の貸し出しを行っているが、秋以降は中止している。状況が落ち着けば貸出しを再開したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		今後策定予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		今年度は、5/25、5/28、10/26、10/30に実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		今年度は虐待防止委員会を開催出来ていないが、内部で職員研修会を実施した。(12/18に実施)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	現在は身体拘束が必要な利用者はいない為、サービス計画への記載はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		アレルギーではないが、食べられない物がある利用者に対し保護者に相談して対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットにあたる事例はなかったが、今後のために職員間で事例検討などで情報を共有していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 5 日

事業所名 ぽかぽかほうす 配布数 18件 回収数 14件 割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1		2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		1		適正な配置である。 児童発達支援管理責任者1名 児童指導員2名以上 児童指導員加配(常勤換算1名以上)
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	14					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10	1		2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6		7		未実施 今後も予定はない
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	1	5		今年度は、会合等の開催が難しかったが今後、検討していく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			2		本年度の苦情はなし。 今後は、利用者へ苦情窓口の周知を計り、言いやすい雰囲気作りに努めスタッフと共通認識をもって進めていく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1				定期的にお便りの発行はできていたが、ホームページ更新が滞ってしまった。次年度は定期的に更新していきたい
14 個人情報に十分注意しているか	14						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2		1		今後、マニュアル作成し周知していく
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	4		3		建物ごとに年2回ずつ実施しているが、今回の評価で知らない保護者も多いことがわかったので、今後改めて周知していく
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14					
	18 事業所の支援に満足しているか	14					

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。